

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	りらキッズスタディ東片端			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日 ~ 令和7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	36
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日 ~ 令和7年 3月 8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンで支援を行い、わからないところはすぐに質問できるような体制を整えている。	前日の支援内容を朝礼で共有し全指導員が一人ひとり課題を把握できるようしている。	保護者の学習内容に対する質問や意見を聞きながら支援に組み込んでいく。
2	主にパソコンを使い学習するため、書くことが苦手な児童にも取り組みやすい。	パソコン学習、プリント学習ともに内容を充実させ、より理解度が深まるような支援をしている。	集中力が高まるように姿勢や周りの環境にも気を配っている。
3	SNSによる情報共有をしている。	保護者との情報を共有できるように発信を継続している。	事業所での取り組みの様子や支援での様子を知っていただき、子どもが「行きたい」と思えるようにこれからも発信していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考へている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが十分とれていないため体を使った遊びは限られてくる。	構造上、変えることができない。	机やテーブルの配置を考えながら、少しでも体を使った遊びが楽しめるように工夫している。
2	個別療育主体の療育のため他児との関わりが薄くなってしまう。	ソーシャルスキルトレーニングや最後のお楽しみの時間には他児と関わるような遊びを指導員が考えていく。	様々な療育が展開できるように学びの機会を増やしていく。
3	事業所内の換気。	なかなか換気がやりづらい面がある。	常に気を配りながら窓を全開にし、サーキュレーターを使用している。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		りらキッズスタディ東片端						
		公表日 令和7年 4月 1日						
		利用児童数 令和7年 4月 1日 40名 回収数 36名						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	0	0			法令を遵守してスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35	0	1			法令の必要とされる人員に加え職員1名を配置しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	8	1		下駄箱、入口あたりが狭く利用者が重なると利用しづらい。 入口のドアが重たい。	少しでも広く使えるように工夫しています。現状では室内ではなく今後も十分に配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	0	0			無駄なものは排除し、療育スペースは簡素化、清潔を保っています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	36	0	0			個別支援（専門的支援）に力を注いでいます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	0	0			一人ひとりの特性を踏まえ支援プログラムを立案しています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	2	0		子どもの苦手分野に対して柔軟に対応してもらっている。学習内容や遊び、季節ごとの工作等、子どもに合わせて計画してもらっています。	保護者様のご要望を聞き、個別指導、集団支援担当職員と話し合いながら作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	0	0			ガイドラインに沿って一人ひとりに合わせた支援内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	0	0			個別支援計画に沿った支援を実施しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	0	0			5領域を踏まえ全職員で考え、取り組んでいます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	0	36	0			保護者様の意見を聞きながら検討していきたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0			契約時に丁寧に説明をしています。
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0			わかりやすい説明を心がけています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	36	0			ご意見を踏まえながら検討していきます。必要に実施していきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	0	0			支援後のフィードバックでその日の様子を詳しく伝えています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	0	0			相談内容に合わせて必要な助言と支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	0	0			支援の様子を対面やSNSを使い伝えています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	18	9		保護者会のような機会があれば参加したいと思う。	今後検討して行きたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36	0	0			保護者様の電話やラインの返信内容などで異変を感じたときはこちらから声掛けをして相談できる環境を作っています。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	33	2	1		アプリを使い、どのような学習やコミュニケーションを取ったか、詳しく教えてくださいありがとうございます。	視覚的なものも使い、さらに充実させていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	36	0	0			手紙、ラインなどを通して活動内容や行事の予定を伝えています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1				個人情報は鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	2	1			安全計画を策定しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	2	1			月に一度訓練を行っていますが、曜日、時間で参加できないお子さんもいらっしゃるため、日時を早めにお知らせし、少しでも多くのお子様に出席してもらいたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	1				事故などが発生したときは速やかに保護者様へ連絡できるような体制を整えています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				36		現在のところ事故などはありません。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36					これからも安心して通所してもらえるよう努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	2			毎回「行きたい」と言っている。	自分から「行きたい」という気持ちをサポートできるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	1			・勉強の時間、お楽しみの時間、メリハリがあり大変うまく対応してもらっています。 ・勉強をしっかり見ていただき本当にありがとうございます。 ・大変満足しています。 ・1年位通っているが、子どもの成長を感じています。 ・進み具合も大切ですが、予習にも注力いただけます。	より良い支援となるように常に努力しています。

公表 事業所における自己評価結果 (放課後等デイサービス)

事業所名		りらキッズスタディ東片端				公表日	令和 7年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		パーテーションなどを活用して必要に応じて配慮している。	お楽しみの時間などで大人数が集まると少々、狭く感じることがあるので机の配置などを工夫していく。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		法令で必要とされる人員に加え職員を1名以上配置している。			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		バリアフリーなどの利用環境については必要に応じて整えていく。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃や消毒を実施し、整理整頓に心がけている。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	パーテーションなどで区切っている。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		改善があった場合は職員間で共有し、都度対応している。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ご意見等を確認し、業務改善に務める。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		所内会議などで意見を聞き、業務改善につなげている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者評価は行っていない。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員のテーマ研修や事例検討会を実施している。			
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5	公表予定あり。			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	アセスメントを下に担当職員で話し合いをしている。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		モニタリングや個別支援計画原案を元に作成会議を行っている。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画を意識しながら児童のその日の状況により臨機応変に対応している。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		支援ごとの記録に気になる点を記載している。			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに沿って一人ひとりに合わせた計画を作成している。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			児童の事例を共有議論する検討会を開催している。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			自発的に適切な行動が取りやすいような指導環境を作っている。		

供 給	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			季節ごとの集団イベントを実施している。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			次回の支援に繋げられるように振り返りを行い共有している。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			読んでわかりやすい文章で記録している。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		児童の様子や保護者の要望について行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		5		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		5		必要性があれば随時、実施していく。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5	保護者の希望により、情報共有を行っていく。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		希望があれば随時、対応していく。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		現在、連絡は取れていないが積極的に連携を取って助言などを受けられるようにしていきたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5		現在は交流はないが機会があるときは個別支援計画に位置づけをして実施していきたい。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		その日の支援内容を保護者に伝えている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログ（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			保護者様の意向を確認し、必要に応じて実施していく。
支 援 計 画 の 実 施	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時や更新時に丁寧に説明を行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		隨時、希望があれば対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		特に行っていないが必要に応じ検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		迅速、かつ適切に対応していく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			行事予定などはSNSを利用している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付き書庫に保管している。 職員同士でも個人が特定できるような発言をしないように心がけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		主にSNSで情報伝達などを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		現在はないが、検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルの下、研修や訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		見学体験時や契約時に健康状態を聞いておき、対応方法を考えておく。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			食事提供は行っていないが、配慮が必要な場合は意思の指示書を提示していただくようしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		事業所内に掲示しておく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事例が起きた場合は職員間で情報共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年に1回以上の研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束に関する指針及びマニュアルを作成し、年に1回以上の研修を実施している。	